



南武橋上流右岸 2017/06/08

拡幅工事終了 矢板は切断撤去された。



河口 2017/6/8

下流側の矢板は残ったまま、砂州が出来はじめた。



甲武橋 2017/05/31

甲武橋水位 0.5mの状態



甲武橋水位 0.4m 下田中水位 0m時の三田大橋下流側



仁川潜水橋下流側 2017/06/22

仁川潜水橋下流側



仁川潜水橋 2017/06/22

カルガモ雛を観察する常連さん

改修工事は終わり、潮止め堰も元に戻され通常状態に戻った。しかし戻らないものもいた。見かけは平年通り戻り、テナガエビ釣りシーズンに入り大勢の釣り人が訪れたが、一向に釣れる様子はない。つい数日前まで堰が転倒されテナガエビは戻っていない様子。たまに釣れるのは稚ハゼくらいで釣り人をガッカリさせていた。

今年は雨が少なく、甲武橋水位が 0.6m~0.4m で推移、20 日には最低水位を記録した。5 月 31 日の甲武橋水位 0.5m は H<sub>Q</sub> 算式では算定不能。堰最下段吐口の水深 0.16・幅 1.3×2・流速 0.5（目測）で試算すると大きく見積もっても 0.4 m<sup>3</sup>/s しかないが瀬切れは見あたらない。三田付近でも瀬切・断流状態は観察されなかった。

6 月 20~21 日にかけてまとまった降雨があり大量のゴミ漂着が予想され仁川合流点観察に行った。予想に反し目立ったゴミはなく、数日前まで表面を覆っていた綿状の浮遊物もなくなり底を泳ぐ魚の姿も明瞭に見えるほど綺麗になっていた。確信はないが、川底の藻を喰む様子が見られ、今年もアユが定着したように見える。カルガモの雛を観察する 3 人連れの話では今年は孵化が少し遅いと言う。ここを大切にしている人たちで何時もお掃除していると言う。